

災害時に助け合えるコミュニティを目指して

郡上市 まちづくり フェスティバル

『市民協働』で取り組む安心・安全なまちづくり

このイベントは、安心・安全なまちづくりという視点から、今地域に何が課題で、課題解決のためには何をしなければならないのか?といった、地域づくりに対する市民の皆さんの意識高揚と、実行に移して行くためのきっかけづくりを目的として開催致します。



総合司会
NHK 岐阜放送局キャスター
ほっとイブニングぎふキャスター
太田 聖子

入場
FREE
無料

日時
2011年 12月 3日 (土)
13:00-16:40 受付 12:00
場所 郡上市総合文化センター 文化ホール

● イベントプログラム

13:00 オープニング

郡上八幡・大和・しろとり少年少女合唱団によるコーラス
～東日本大震災被災地に向けた応援メッセージ～

13:30 市政功労者表彰

郡上市の発展に寄与された方、地域の発展や市民福祉の増進に功績のあった方、その他市民の皆さんの模範となる方を市政功労者として表彰します。

14:00 講演(第一部)

「大震災とコミュニティ～復興は人の絆から～」
講師：愛知学泉大学コミュニティ政策学部
特命教授 山崎 丈夫 氏

14:40 事例紹介

「外国人等の災害弱者支援について」
講師：新潟県長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏

15:35 ミナモダンス & 体操

チームミナモ & スーパークッキーズ

15:50 講演(第二部)

「放射線の基礎知識 ～ほんとうに怖い?～」
講師：岐阜大学医学部附属病院 放射線部
主任診療放射線技師 岡田 富貴夫 氏

16:30 お楽しみ抽選会

当日はバザーコーナーや、お子様向けの映画上映も行いますので、ご家族でお気軽にご来場下さい。

12:00～15:50

1Fホール バザーコーナー

ぼぶらの家・みずほ園・ウィングハウス
すみれ作業所・ぶなの木学園
りあらいず和・フレンドシップつくしの家
手作りパン・お菓子・雑貨品などの販売

12:00～15:50

2Fホール パネル展示コーナー

防災コーナー (郡上市・郡上市消防本部の取組み)
東日本大震災被災地でのボランティア活動紹介
放射線測定器等、機材の展示
国際交流団体活動紹介
集落総点検夢ビジョン取組み団体の事例紹介
「地域で支えあう住民組織づくり事業」取組み紹介

14:00～16:00

多目的ホール お楽しみ映画会

無料



ゲゲゲの鬼太郎



アンパンマン



忍たま乱太郎

当日は子育てサポーターが4名おります。

主催：郡上市 お問い合わせ 郡上市 市長公室 企画課 TEL(0575)67-1831 (直通)

共催：郡上市国際交流推進協議会・郡上市社会福祉協議会 後援：郡上市自治会連合会・郡上市住民自治推進懇話会

開催場所：郡上市総合文化センター 郡上市八幡町烏谷 207-1 (郡上市役所北側) TEL (0575)-67-1555

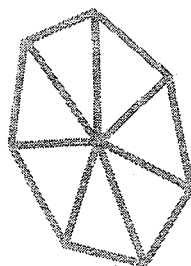
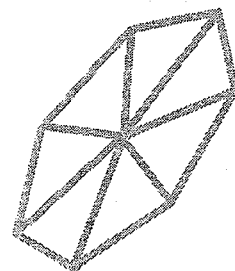
Proud! Japan

東日本大震災の復興を支援しよう



平成23年度

郡上市 まちづくり フェスティバル



災害時に助け合えるコミュニティを目指して

～市民協働で取り組む 安心・安全なまちづくり～

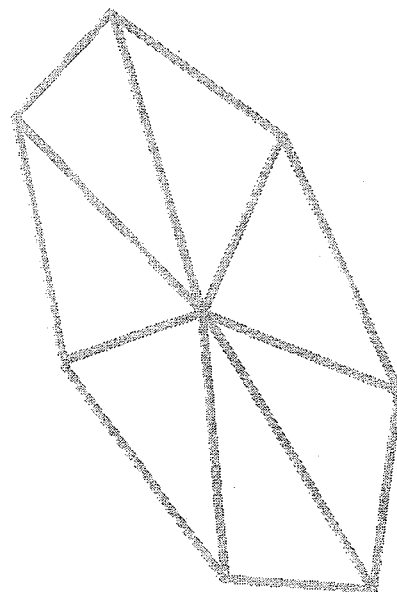
日時：平成23年12月3日[土] 午後1時～

会場：郡上市総合文化センター 文化ホール

■主催：郡上市

■共催：郡上市国際交流推進協議会/郡上市社会福祉協議会

■後援：郡上市自治会連合会/郡上市住民自治推進懇話会



郡上市まちづくりフェスティバル 実施要領

1. 開催目的

総合計画後期基本計画、市民協働指針、自治会等市民組織活性化方針の策定を受け、郡上市では、市民の皆さまと行政とが一丸となってコミュニティの活性化を目指した地域づくりを実施しています。

そうした中、3月11日に発生した東日本大震災は、私たちに日頃からの防災意識やその備えに加えて、地域の中でのつながりと共に支えあう仕組みづくりが重要であることを再認識される出来事でした。

そのようなことから、本年度のフェスティバルでは、安心・安全なまちづくりという視点から今地域には何が課題で、課題解決のためには何をしなければならないのかといった、地域づくりに対する市民の皆さまの意識高揚と、実行に移していくためのきっかけづくりを目的として開催します。

2. プログラム

13:00 開会

オープニング

郡上八幡・大和・しろとり少年少女合唱団のコラボによるコーラス

～東日本大震災被災地に向けた応援メッセージ～

13:30 市政功労者表彰

13:50 市長あいさつ

14:00 講演(第1部)

「大震災とコミュニティ ～復興は“人の絆”から～」

講師:愛知学泉大学 コミュニティ政策学部特命教授 山崎丈夫氏

14:40 事例紹介

「外国人等の災害弱者支援について」

講師:新潟県長岡市国際交流センター長 羽賀友信氏

15:20 山崎丈夫氏、羽賀友信氏、日置敏明市長による意見交換とまとめ

15:35 ぎふ清流国体PRタイム

チームミナモ & スーパークッキーズによるミナモダンス & 体操

15:50 講演(第2部)

「放射線の基礎知識 ～ほんとうに怖い?～」

講師:岐阜大学医学部附属病院 放射線部

主任診療放射線技師 岡田富貴夫氏

16:30 お楽しみ抽選会

16:40 閉会

1階ホール

12:00 ◎バザーコーナー

～15:50 ぼぶらの家、みずほ園、ウイングハウス、すみれ作業所、ぶなの木学園
りあらいず和、フレンドシップつくしの家

2階ホール

12:00 ◎パネル展示コーナー

～15:50 ・防災コーナー(郡上市・郡上市消防本部の取組み紹介)
・東日本大震災被災地でのボランティア活動紹介
・放射線測定器等機材の展示
・国際交流団体活動紹介
・集落総点検夢ビジョン取組み団体の事例紹介
・「地域で支えあう住民組織づくり事業」取組み団体の事例紹介

多目的ホール

14:00 ◎お楽しみ映画会

～16:00

☆進行

・総合司会 太田聖子

(NHK岐阜放送局キャスター ほっとイブニングぎふキャスター)

平成23年度郡上市政功労者表彰

(感謝状贈呈)

(順不同、敬称略)

種別	内容	氏名	住所	功績
地域の発展及び文化、芸術の振興、生活の安定と向上に尽力された方	女性・青少年功労	猪島 武男	白鳥町	元郡上市青少年育成推進員
		清水 正	白鳥町	元郡上市青少年育成推進員
		山下 國男	白鳥町	元郡上市青少年育成推進員
社会福祉及び心身の健康の増進、快適な社会生活の確保に尽力された方	社会福祉功労	藤田 淳子	八幡町	元民生委員児童委員
		武藤 義夫	美並町	元法務大臣委嘱人権擁護委員
市の公益のために多額の金品を寄付された方	ボランティア・善行功労	明宝特産物加工(株) 代表取締役 蒲昌範	明宝	郡上市へ多額の寄付金

(表彰状授与)

(順不同、敬称略)

種別	内容	氏名	住所	功績
全国的な大会で優秀な成績を収め、市の名誉を高めた方	スポーツ功労	荒井 咲伎	白鳥町	第66回国民体育大会 ライフル射撃競技少年女子チーム・ライフル立射(20発)優勝(大会新)
		郡上北高等学校 射撃部	白鳥町	第49回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 チーム・ライフル男子団体3位入賞
		武藤 はなの	八幡町	第11回全日本少年少女空手道選手権大会 組手個人小学1年女子の部準優勝
多年地域社会のために自ら進んで奉仕活動や善行をされてきた方	ボランティア・善行功労	加藤 里美	大和町	郡上偕楽園利用者へ美容ボランティア
		古谷 春美	大和町	郡上偕楽園利用者へ美容ボランティア

□講演(第1部)

演題 「大震災とコミュニティ ～復興は“人の絆”から～」

講師:愛知学泉大学 コミュニティ政策学部特命教授 山崎丈夫氏

<講師プロフィール>

1943年生まれ。愛知学泉大学コミュニティ政策学部長・教授を経て、現在・特命教授。

地域コミュニティ論・地方自治論専攻。郡上市自治会等市民組織活性化方針策定アドバイザー、(仮称)郡上市市民協働センター設置検討委員会アドバイザー、愛知県地域コミュニティ有識者研究会座長、豊田市行政経営懇話会会長などに就く。

主要著書:『地域コミュニティ論』、『まちづくり政策論入門』、『大震災とコミュニティ』(編著)、『地域コミュニティ最前線』(編著)、『地域再生と町内会・自治会』(共著、いずれも自治体研究社刊)など。

<メモ>

A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, creating a template for writing notes. The lines are parallel to each other and extend across the width of the box.

「大震災とコミュニティ ～復興は”人の絆”から～」

山崎丈夫（愛知学泉大学特命教授）20111203

はじめに

- ・ 3連動型大震災への不安と危機感の高まり
- ・ 大震災では、集団（コミュニティ）の力が、救援・復旧・復興に活かされる

1 これまでの大震災の教訓—地域では、どのような対応・役割を果たせたか

(1) 地域で取り組まれたこと

- 1) 救出・消火作業
- 2) 避難所の設置・運営管理
- 3) 炊き出し、救援物資の配付
- 4) 住民の消息把握
- 5) 情報の把握・伝達
- 6) 行政への要望集約
- 7) 住民意思の結集
- 8) その他

(2) 日ごろの生活のつながりや活動蓄積をいかに活かすか

(3) 災害などの非常時には、日常的に蓄積した以上の力は出せない

2 市民参加の防災まちづくりの方向

(1) 地域防災基本計画の策定、防災診断の実施

(2) 災害地図の作製（防災班の区域、消化器の所在、病院・医院・防災ポンプ・井戸・集合場所…を書き込む）・専門家との協働

(3) 防災学習・情報収集・発進（ニュース）

(4) 井戸などの整備

(5) 防災訓練（初期消火・救援…）、防災施設の点検

<事例>①名古屋市城西学区

②愛知県豊橋市老津地区

(6) 災害時のボランティア活動、要援護者対策（障害者・高齢者・一人暮らし・外国人…）

(7) その他

3 東日本大震災とコミュニティの役割

(1) 避難所の設置と自主組織による運営

<事例>岩手県陸前高田市立第1中学校の場合

- 1) 避難者による自治会（絆の丘）の結成と運営
- 2) 役割分担→清掃・物資管理・食事づくり・名簿管理・外出管理…

<事例>同小泉公民館避難所の場合

- 1) 地元小泉町内会による避難所運営 ・役割分担＝1中とほぼ同様
- 2) パーティションを設けない避難生活。グループホーム型仮設住宅建設提案
→しかし、9ヵ所の仮設住宅に分散（抽選方式）

(2) 避難者の心の動きとケア ①茫然自失期 ②心理的高揚期 ③幻滅期 ④復活期

(3) 避難所をめぐる改善点

- 1) 避難所の環境改善 ①更生労働省＝災害救助法の特別基準見直し→①食事
1人1日1010円を1500円に ②避難所設置経費（プライバシー・入浴・洗濯…）1人1日300円を1000円に
- 2) 「災害弱者」への配慮 ①高齢者対策、男女物トイレ・更衣室・授乳室設置
など ②運営への女性の視点重視
- 3) 福祉避難所の設置 ①高齢者・障害者などのケアの必要な人への配慮 ②各
種介護施設などとの事前協定を結ぶ
- 4) 在宅被災者と避難所との連携→災害救助法で、食料・水・生活必需品の援助
(岩手県24224人、宮城県26600人)

(4) NPO・ボランティアの役割

- 1) 初めて、災害救援NPO全国ネットワーク結成（約600組織）
- 2) これまで、延べ約80万人を超えるボランティアの参加

(5) 避難所から、仮設住宅などへの移住

- 1) 避難所の閉鎖と仮設住宅などへの移住と課題
- 2) 仮設住宅の建設数 ①岩手県→319ヵ所、14000戸 ②宮城県→
400ヵ所、22043戸 ③福島県→170ヵ所、15787戸

3) 仮設住宅をめぐる問題点

- ①内陸部の高台に点在→交通・買い物不便、医療難民、雇用不安定…
- ②多くが、入居にあたって抽選方式採用（公平性の担保として）のため、元の居住地域、避難所でのつながりが無視されている。入居率半分の地域もある。
- ③2011年6～8月の震災関連自殺者 32人（内閣府調べ）＝孤立化状況
→阪神大震災の教訓活かされず、コミュニティのつながり阻害

<事例>岩手県各市町の孤独死防止の取り組み

- ア) 布のついた竹棒を玄関先に掲げる（大槌町） イ) 100人に非常用ブザーの配付（釜石市） ウ) 200人に緊急用携帯電話無料貸し出し（大船渡市） エ) 茶会交流会、生活相談員の巡回（陸前高田市）

4) 住民・市町主体での仮設住宅建設の取り組み＝前進面

- ①岩手県陸前高田市長洞地区→地区内に浸水しなかった土地を仮設住宅用に確保（長洞元気村） →震災前の住宅と同じ並びに＝元のつながりを守る →地域の復興計画の論議開始
- ②岩手県宮古市は入居希望地区アンケート実施して、それをもとに用地選定をすすめた（62カ所、2010戸建設）＝コミュニティのつながり維持
仮設住宅での商店街の再現（商議所との連携）
- ③岩手県住田町→町長専決による木造仮設住宅建設（気仙杉・気仙大工…）

5) 仮設住宅での自治会の発足状況

- ①『朝日新聞』10月12日参照→岩手・宮城県約60% 福島県約90%
＝被災者が混在する地域が困難性高い→福島県は地域ごとの仮設入居多い
・陸前高田市 53団地で100% ・名取市 8団地で100%
- ②担い手の不足＝仮設住宅の入居がいつまで続くか期限不明、高齢化の進行
一方で、入居者による交流・安否確認・復興論議の盛んな仮設住宅も

6) 現地への支援継続の重要性

4 地域を基盤にした日常の支え合いの関係づくり

～人びとのつながりの蓄積をすすめて、いかに災害時に役割を発揮するか

□事例紹介

演題 「外国人等の災害弱者支援について」

講師：新潟県長岡市国際交流センター長 羽賀友信氏

<講師プロフィール>

1950年新潟県長岡市生まれ。

1980年カンボジア難民救援医療プロジェクト(現国際緊急援助隊の原型)に緒方貞子氏らと共に参加し、国境地帯で病院を運営。帰国後、パレスチナ、アフガニスタン、アセアン(気候変動)、ブータン、ヨルダンなどで国際協力にかかわる。また、エジプト、オーストラリアの砂漠体験などを通して引きこもりや不登校の子どもの自立を支援する「自然塾」を主宰。

2002年より長岡市国際交流センター「地球広場」センター長。多文化共生社会を目指し「出会→交流→協働」をコンセプトとした地域づくり・人づくりを多面的にコーディネートし、地域力を世界に発信している。

中越地震(2004年)、中越沖地震(2007年)の際は外国籍被災者の救援に奔走、以来、災害時救援の普及活動やスマトラ沖地震、四川大地震からの復興にも尽力。

まちなかキャンパス長岡学長、長岡市教育委員、(財)米百俵財団評議員、(社)中越防災安全推進機構理事、JICA地球ひろば国際協力サポーター、新潟県青年海外協力隊を育てる会副会長、NPO 多文化共生マネージャー協議会理事等々を兼職。

現在は東日本大震災バックアップセンター(長岡)の代表として現地支援(陸前高田市)・受入支援(南相馬市)を継続実施中。

2008年 JICA理事長(緒方貞子)賞受賞、地域づくり総務大臣表彰

2009年度 長岡市表彰

□講演(第2部)

演題 「放射線の基礎知識 ～ほんとうに怖い?～」

講師:岐阜大学医学部附属病院 放射線部

主任診療放射線技師 岡田富貴夫氏

<講師プロフィール>

昭和34年6月25日生

出身:岐阜県岐阜市

所属:国立大学法人 岐阜大学医学部附属病院 放射線部 主任診療放射線技師
医学部附属病院 放射線取扱主任者

略歴

昭和56年3月 川崎医療短期大学 放射線技術科卒業

同年4月 岐阜大学医学部附属病院 中央放射線部 奉職

平成13年4月 岐阜大学医学部附属病院

中央放射線部(現放射線部)主任診療放射線技師

技師会・学会 役職等

(社)岐阜県放射線技師会 常任理事(学術担当)

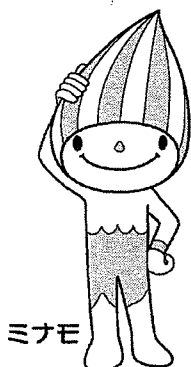
(社)日本放射線技師会 放射線管理士部会 部会長 (平成17年11月22日～)

論文・著述等

MR脳表撮像法-SAS-とその臨床応用

診療放射線技師 画像診断マスター・ノート(共著) メジカルビュー社

第67回 国民体育大会を盛り上げましょう!



ミナモ

2012 ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役

相撲競技会

開催期間：平成 24 年 9 月 30 日 (日) ~ 10 月 2 日 (火)

会 場：郡上市合併記念公園特設相撲場 (白鳥町)

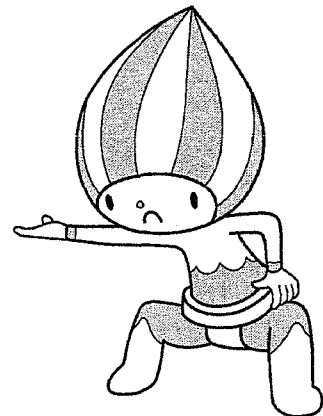
郡上市スローガン

君の夢 ぐじょうの土俵で 花開け

蓄えてきたパワーを郡上で余すことなく出し切ってほしい。
花を開くというのはそういう意味です。



郡上市ご当地ミナモ



郡上市競技ミナモ
『相撲』

ミナモ

ミナモはキラキラした川の水面(みなも)に住んでいるキラキラの妖精です。
元気いっぱいスポーツと自然が大好き。これからいろいろなスポーツに挑戦したいと思っています。